

「地域と連携した防災訓練」

概要： 剣崎小学校全校生徒が、地域の方たちと合同で地震と津波を想定した防災訓練を行った。 小学校全校
学校行事



実施内容

1. **実施校** 剣崎小学校
2. **目的** 津波を想定した防災訓練を定期的に行い、実際に地震や津波災害が起きた際に地域と連携して素早く避難を行うことを可能にする。
3. **内容** 校内で地震、津波が起きたことを想定した放送をし、グラウンドに集合。地域と連携して標高の高い安全な場所まで避難する
4. **日時** 平成28年 6月7日(火) 14:30~15:30
5. **場所** 剣崎小学校、松輪野菜集出荷所
6. **参加者** 剣崎小学校全校児童生徒
7. **指導者** 剣崎小学校校長、教頭、教員
8. **協力者** 地域の方々、保護者、消防署員、消防団員、防災課、警察官
9. **持ち物** 防災頭巾、カバン、筆記用具

当日の様子

○校内放送で地震、津波発生を告知。児童生徒たちは、担任の先生についていきながら校庭へ向かい、集合した。

○消防団の方たちに付き添われながら集出荷所へ向かう児童生徒たち。長い坂を上り、安全な場所まで避難した。集出荷所では保護者、消防署、消防団、地域の方、防災課とたくさんの方々が見守っていた。

○「地震、津波の危険性、二次被害を防ぐために家のブレーカーを落としてください」「『おかしも』」という言葉覚えておいて下さい」防災課、消防署の方が何度も念を押して、集積所にいるすべての人達に伝えていた。

○校長先生は、「今回は、子どもたちはもちろん、保護者や地域の人たちにとっても良い訓練になった。2年に1度だが、必ず行っていきたい」と話していた。